



有形文化財（彫刻）

もくぞうはくさんじんじゃししがしら

2. 木造白山神社獅子頭 1頭

■指定年月日 昭和58年1月25日（1983）

■寸法 高22cm 幅31cm 奥行35.5cm

■所在地 宝立町春日野82-20

■所有者 はくさん 白山神社

額の高さ22cm、鼻の高さ19cmで、その差はなく、幅の広い歯が上下10本ずつある。牙は上下2本ずつ彫ってある。背面の木口は、のみ切りでその断面は半円形である。その側面は垂直ではなく、上部で内側に曲がっている。鼻も少々上向きなので、全体的に上部がすぼみ、安定感がある。

下あごの下端は少しそり上がり、頭は別の木で造り、その上部には円形で直径9cmの鍍金銅板を貼る。上あごと下あごは鉄製のボルトで止めてある。眼・鼻孔・唇は朱漆塗り、瞳・歯は金箔、その他は黒漆塗りである。

現状は、両耳をはじめ、すべての毛髪が失われ虫くいもひどい。原資料は修復され石川県立歴史

博物館に保管されている。

上あごの内部下端に朱漆で銘文が書いてある。

法住寺

為

願主西願作鬼大夫

色執秀珍

応安五年壬子歳五月 日
(1372)

わずかな字数であるが、製作の意図・願主・作者・彩色者・製作年号が分かるので貴重である。